高島新政クラブ

継続審査

「高島市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案」

市営駐車場の内、安曇川駅前第4駐車場及び第5駐車場を有料化（月額4千円）し、今津駅前第1駐車場を安曇川駅前と同額に引き下げ、障がい者に対し減免規定を設けるとの条例案に対し、新政クラブは

①施行期日が11月1日では、周知期間等が短く拙速すぎる。

②市内統一価格設定の方向性と整備計画が明示されていない。

③今津の駐車料金は施行から半年しか経過していなく、引き下げは市民の理解が得られるのか。

④各駐車場の一時預かり所対策がない。

⑤市営の駐車場の設置理由が不明確である。

等の問題点を指摘し、見解を求めましたが納得できる回答が得られず、継続審査となりました。今後早期に結論を得るべく調査研修してまいります。

日本共産党 高島市会議員団

市民の皆さんとゴミ学習

9月議会は、環境センター破砕機の故障や、センターへの持込みゴミの値上げ・有料化が提案され、ゴミ問題が大きな議題となりました。

党議員団は9月3日、市民の皆さんと一緒に今津町の環境センターを訪問し、ゴミ学習をしました。ペットボトル・缶類はきれいに圧縮、新聞紙・段ボール等は各コーナーに分類され、引き取り業者を待っていました。粗大ゴミは職員さんが分解し、再利用可能な部分を取り出すなど手間をかけた作業が行われていました。

古着も山積みされ、中にはリフォーム可能な着物もあり「もったいないな～」の声が上がりました。また、可燃ゴミの6割が紙ゴミで、これを分別すればもっとゴミの減量化が図れると知り、分別の必要性を実感しました。

今津町の環境センターを訪問

たかしま21

我が会派は3名に！

7月26日付で、わが会派は新たに1名加わり、9月議会は3名で臨みました。

会派の広報紙なり本紙には、紙面の関係で掲載できませんでしたが、9月議会に臨むに当たって、地場産業振興に対する関係機関の声として、観光協会・商工会・農協に出向き、現場の声を聞かせて頂きました。

行財政改革の中で、市からの助成金問題や、市への要望事項等について、率直なご意見を頂きました。代表質問や個人質問では現場の声を十分に執行部に届けることは出来ませんでしたが、今後も市民皆さんの声を大切に、将来を見据えた偏りのない市政へ、正義感を持って、市政チェックに努めたいと考えております。

高島公明会

「子宮頸がん」検診とワクチンで命守る

公明党は、ワクチンの公費助成を求める署名運動を女性議員・党員が中心となって全国で行い、350万人の声を国などに届けました。

滋賀県では4月9日に13万9、585人の署名を県知事や各市町長に提出し強く要望しました。高島市では6、987人の署名を集め、その内県知事に3、631人署名を提出し、高島市には3月24日に3、356人の署名を西川市長に提出し要望致しました。子宮頸がんの予防には、半年間に3回のワクチン接種が必要とされ、約5万円の費用がかかります。

現在社会は経済・雇用不安により生活が大変困難な時代であり、子育てなどにかかる費用の家計に対する負担が大きいことから、子宮頸がん予防ワクチン接種費5万円は家庭にとって高額であり、すぐに払える金額ではありません。また若い女性の命と健康を守るため公費助成すべきであると、西川市長に強く要望しています。

高島市民クラブ

見せない姿に苛立ち

合併協定基本5項目の一つ、「新庁舎建設」は今、何処に？

『平成17年1月、6つの町と村がそれぞれを認め合い、御互いを理解したうえで一緒になってから、早5年と10ヶ月が過ぎようとしています。その時の子も5歳になり、将来の事を考え来年あたりから保育園か幼稚園に入園させたいと考えているのですが。』との話がありました。

この新庁舎の建設に関しては、合併協定締結時と今の財政状況や経済情勢に大きな違いがあることから、『約束事だから反故にするな！約束を守れ！』の声に対しては執行部も毅然とした態度を執る必要がある一方、平成26年が期限となる合併特例債を最大限に活用するためには市民の声を十分に聞き、議会と執行部との話し合いの中で大半の市民が納得する最良の答えを一日も早く出すべきではないでしょうか。

選択肢には、現在の状態を続ける方法や庁舎を新築する方法、仮本庁舎とする方法などが考えられますが、一般質問でも指摘したように、新庁舎建設に関しても「何故・なぜ・？」にならない適切な判断が求められます。

高島市民ネット

新会派結成と政治心情

「高島市民ネット」と命名し新会派で活動することになりました。

過去5年間の活動は一般質問や委員会で多くの提案や市民の目線での問題点を明確に指摘してきましたが、必ずしも成果が現れたとは言い切れません。議会が市民にとって解かり易く、納得のいく議論が展開されることを目標に、市民生活に希望と励みがでる施策が審議される場となるよう日々精進したいと考えています。時には頑固であり、時には優柔不断であり、時には自分を見失うこともありますが、市長と市議会議員が同じ選挙区で選出される二元代表制での議員として、私は「是々非々」の姿勢で進みたいと考えます。

残された期間、今までより以上に市民との対話時間を多く持ち、より以上の研鑽に努めたいと考えています。

皆様のご意見、ご指導をぜひ頂きますよう宜しくお願い申し上げます。